

## 第18回東邦看護学会学術集会のご案内

第18回東邦看護学会学術集会の会長を務めさせていただきます東邦大学医療センター佐倉病院の高橋初枝です。東邦看護学会の発足の経緯を振り返りますと、当時の東邦大学3病院、短大、佐倉看護専門学校はそれぞれで看護研究会を行っていましたので、情報が各施設内にとどまっている現状でした。これを合同で行って、看護実践と研究の向上と発展を目指すことが提案され、東邦大学看護研究会が発足しました。そして、発足から10年目を迎えた2010年には、前身の研究会の成果を継続するという形で「東邦看護学会」へ移行し、「第10回東邦看護学会学術集会」を開催することとなりました。前身の研究会から歴代の委員長・会長が、進化・発展させてきた東邦看護学会学術集会の会長を務めるということで、その責任の重さを感じております。

いま、医療・看護を取り巻く環境は大きく変化しています。医療機能の分化・強化・連携、今後ますます進行する高齢化社会、その中で看護に求められる役割に迅速かつ柔軟に対応していく必要性があります。そのためには、看護に携わる人々が心身ともに健康であることが、この時代の変化を乗り越えていくことにつながると考えました。

そこで、第18回学術集会のテーマを「ストレスを科学する」としました。ストレスの原因となる要因は、仕事の悩みや人間関係、家庭、地域などに存在しています。さまざまなストレスが私たちに振りかかります。振りかかるストレスに気づきこれに対処する、セルフケアの必要性を認識することが重要です。しかし、振りかかるストレスに、自身の力だけで対処することが難しいこともあります。その場合は、組織的な対策が必要です。この対処方法・対策について、産業医として医師の立場から、精神看護専門看護師として看護師の立場から教育講演をしていただくプログラムを予定しております。

皆様にとって有意義な学会となるよう、事務局メンバーと力を合わせて努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

高橋 初枝

**開催日程**：2018年12月15日（土）

**場 所**：東邦大学看護学部

**学術集会長**：東邦大学医療センター佐倉病院 副院長・看護部長 高橋 初枝

**テ ー マ**：「ストレスを科学する」